

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成(景観形成事業)				シート番号	017-008
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観	課 評価責任者(課長名) 河合

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	6	良好な居住環境の形成	有
	2	事業開始年度	平成 6 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	景観法、景観法施行令、景観法施行規則、堺市景観条例(堺市景観計画)、堺市景観条例施行規則			
	4	関連計画	堺市歴史的風致維持向上計画			
5	事業実施の経緯	平成5年に堺市景観条例を制定して以降、景観に対する社会的関心の高まりや社会環境の変化のなか、平成17年には景観法が全面施行され、これを踏まえ、平成23年12月には堺市景観計画を策定するとともに、法に基づく堺市景観条例を施行(全部改正)。さらに、百舌鳥古墳群周辺地域について世界文化遺産登録をめざすにふさわしいまちなみの形成に向け、当該地域の建築物の色彩などの形態意匠を制限するほか、高さの制限を見直し、平成28年1月から新たな制限により景観形成に取り組んでいる。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、建築等事業者及び来訪者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	本市固有の景観資源を活かした良好な景観形成を進めることにより、都市の個性づくりや魅力向上を図るとともに、良好な居住環境の形成に係るその他の事業と連携し、まちなみの美しさに対する市民並びに来訪者の満足度を高めるため、総合的な景観施策の展開と実効性のある景観誘導を進める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・景観法及び堺市景観条例等に基づき大規模建築物等の届出制度を実施することにより、実効性ある景観誘導を進め、都市の個性づくりや魅力向上に向け、持続的に良好な景観形成を図る。 ・百舌鳥古墳群周辺地域においては、景観法及び堺市景観条例等に基づき認定申請制度を実施することにより、百舌鳥古墳群のあるまちとして相応しい良好な景観形成を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費(a)	千円	7,245	4,968	1,226	722	2,111	1,427	1,189
主な事業費内訳								
委託料	千円	4,569	3,132			848	845	
報酬等	千円	1,262	928	988	673	1,082	581	1,082
需用費	千円	1,132	682	188	27	94	0	14
その他(役務費等)	千円	105	43	50	21	87	0	93
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	7,245	4,968	1,226	722	2,111	1,427	1,189
12 人件費(b)	千円	15,665	15,665	19,060	19,060	10,910	10,910	18,255
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	22,910	20,633	20,286	19,782	13,021	12,337	19,444

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	良好な景観の形成(景観形成事業)	シート番号	017-008
-------	------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	事業者への助言指導や周知啓発リーフレットの配布とともに、景観アドバイザー会議を通じた効果的な指導等により、景観法に基づく大規模建築物等の届出制度や百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定申請制度を適切かつ円滑に運用することで、持続的に良好な景観形成を図ることができた。(大規模建築物等の届出件数77件、景観地区の認定申請件数52件)					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		景観法に基づく大規模建築物等の届出件数及び景観地区の認定申請件数	目標値	-	-	-	-
			実績値	186	132	129	
			達成率				
	算出方法・設定根拠など	大規模建築物等の届出件数、景観地区の認定申請件数					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
			評価				

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 大規模建築物等の届出件数、景観地区の認定申請件数	件	186	132	129
	② 上記①にかかる年間経費	千円	20,633	19,782	11,491
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	110,930	149,864	89,078
備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①				
	② 上記①にかかる年間経費	千円			
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	
19	本事業は景観法に基づく建築物等の届出や認定申請の制度であり、目標値になじまないが、制度を開始した平成6年度から令和元年度までの合計件数は、約3,060件になり、持続的に良好な景観形成を図っている。また、景観アドバイザー会議に諮るにあたり、現地調査等による会議資料作成等、円滑な制度運用の準備を行っている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	良好な景観の形成(景観形成事業)	シート番号	017-008
-------	------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 大規模建築物等の届出制度及び百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定申請制度は、本市の良好な景観形成の実現に資することを目的とし、法・条例等に基づいて遂行する事務であるため廃止できない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記同様。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 上記同様。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 届出及び認定申請に係る事前協議申出書の提出については、郵送による受付に対応しており、ホームページ等で周知している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定申請制度については、大阪府・藤井寺市・羽曳野市と連携しながら取組んでいる。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	景観法に基づいた届出制度等を今後も継続的に取り組むことで、さらなる良好な景観形成に向けて建築主等を誘導していく必要がある。		